

二次製品耐震性貯水槽

(財)日本消防設備安全センター認定 認定番号 耐-99134号, 耐-09120号

品質は保証済みです。

二次製品防火水槽(40m³型)及び二次製品耐震性貯水槽(40m³型・60m³型・100m³型)は、(財)日本消防設備安全センターが定めた厳しい規程・基準に合格した認定製品の総称です。規程・基準の主体は品質管理を目的としたものであり、従って、認定製品は高品質が保証された製品として安心してご使用いただけるものです。



だから、選ばれています。

◎ずば抜けた耐震性

震度法(水平震度0.288、鉛直震度0.144)により耐震設計された製品です。

◎完璧な止水

各製品のジョイント部は止水材、ポリウレタン系シーリング材により、漏水を完全にシャットアウト。

◎認定工場で一貫生産

厳しい品質管理のもと、設備が整った工場で生産される、均一で高品質な製品です。

◎組み立ての簡易性

各製品の接合部はPC鋼棒、高力ボルトにより一体化されていますので、組み立てはスムーズです。

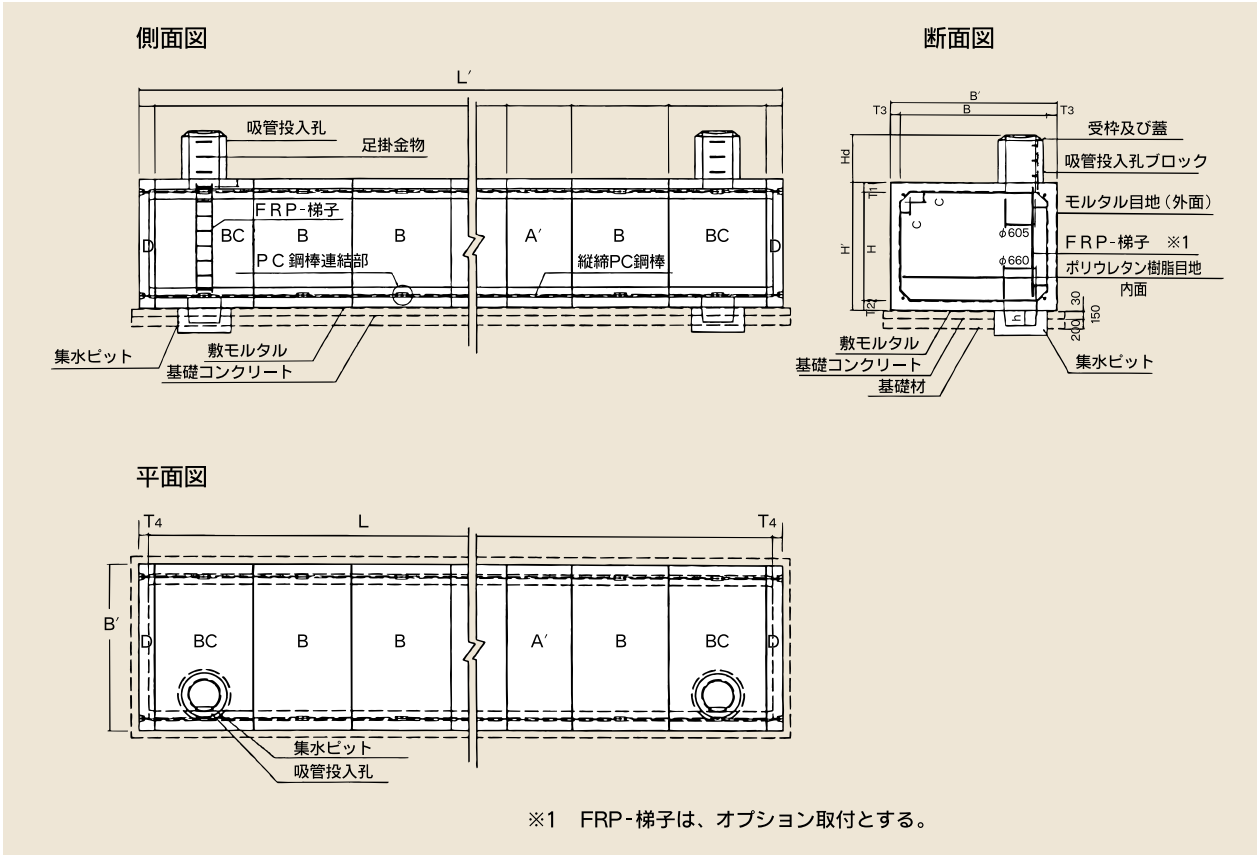
◎工期短縮

すべてが工場製品ですから、工期は大幅に短縮されます。

二次製品耐震性貯水槽

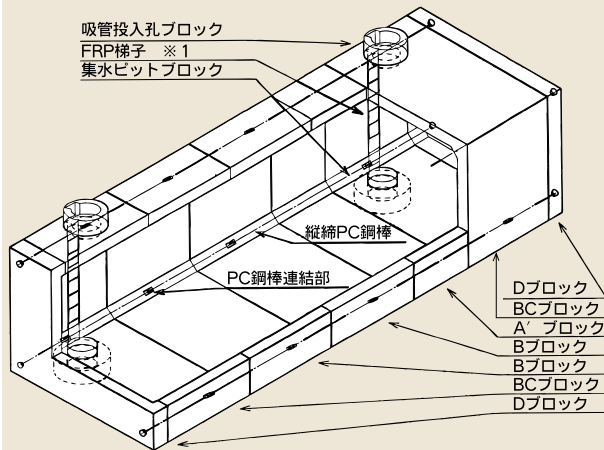
(財)日本消防設備安全センター認定 認定番号 耐-99134号, 耐-09120号

(60m³~100m³型) 構造図



組み合わせ

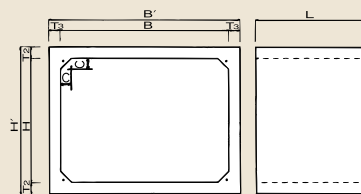
60m³の組合せ例



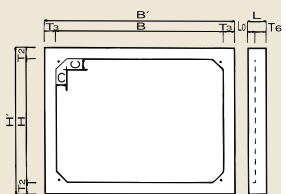
※1 FRP梯子は、オプションです。
 吸管投入孔及び集水ピットは1ヶ所にすることもできます。

製品図

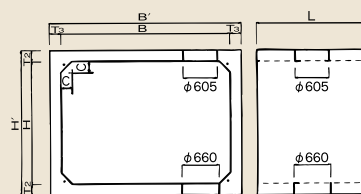
A'ブロック・Bブロック



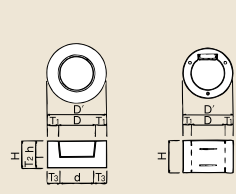
Dブロック



BCブロック



集水ピット 吸管投入孔



※二次製品防火水槽、二次製品耐震性貯水槽(40m³型)については、別途資料請求願います。

※雨水貯溜システムについては、別途資料請求願います。

二次製品耐震性貯水槽

(財)日本消防設備安全センター認定 認定番号 耐-99134号, 耐-09120号

容量別製品組合せ表

容量による区分	容量	組合せ(配列)例	ブロック数					製品延長(m)		実容量(m ³)
			A'	B	D	BC	計	外長さ(L')	内長さ(L)	
60m ³ 型	60m ³	D BC B A' B BC D	1	2	2	2	7	9,906	9,500	61.92
	70m ³	D BC A' B A' B BC D	2	2			8	11,226	10,820	70.53
	80m ³	D BC B A' B A' B BC D	2	3	9	13,206	12,800	83.44		
	90m ³	D BC B B B B BC D	-	5	9	14,526	14,120	92.04		
100m ³ 型	100m ³	D BC B B B B A' B BC D	1	5	2	2	10	15,846	15,440	100.65

※集水ピットの位置等、製品の組合せ方法についてはご相談下さい。

各ブロックの寸法及び参考重量

ブロック	寸法 (mm)											
	B	H	B'	H'	T ₁	T ₂	T ₃	T ₄	C	L	Lo	参考質量(kg)
Bブロック	3,000	2,200	3,406	2,606	203	203	203	-	200	1,980	-	11,663
BCブロック												11,345
A'ブロック												7,775
Dブロック												5,288

ブロック	寸法 (mm)									
	D	H	D'	d	T ₁	T ₂	T ₃	h	参考質量(kg)	
集水ピット	h=300	660	503	1,066	605	203	203	230.5	300	875
吸管投入孔	H=290	605	290	905	-	150	-	-	-	243

二次製品耐震性貯水槽据付工事歩掛表

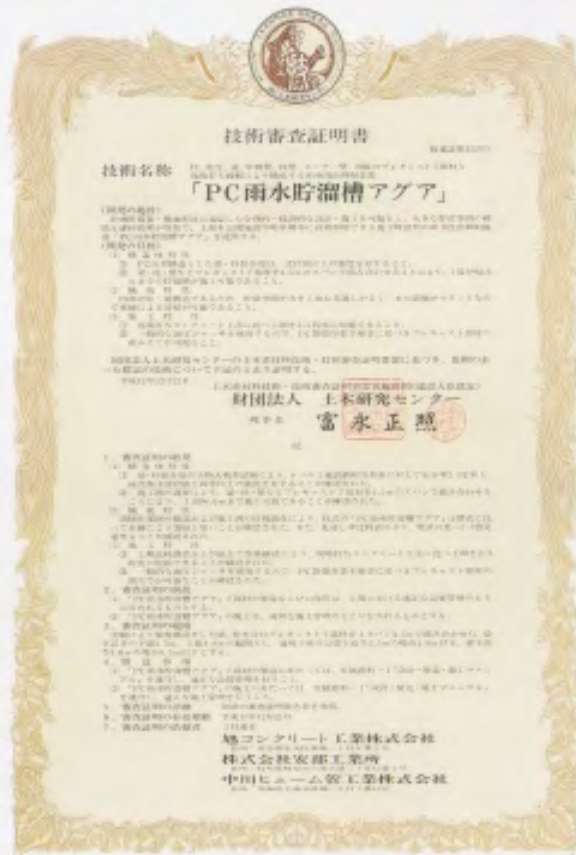
種別(型式記号)	二次製品耐震性貯水槽(ASHKY322C-I・III型P-1.5)						
容量による区分	60m ³ 型						100m ³ 型
容量(m ³)	60	70	80	90	100		
据付工	世話役	人	2.6	2.8	3.1	3.3	3.5
	特殊作業員	人	5.0	5.6	6.6	7.3	7.9
	普通作業員	人	4.4	4.9	5.8	6.4	7.0
	クレーン車	時間	12.0	14.0	16.0	18.0	20.0
縦締工	PC鋼棒	m	39.18	44.44	52.32	57.60	62.88
	特殊作業員	人	2.2	2.5	2.9	3.2	3.5
	普通作業員	人	2.3	2.6	3.0	3.3	3.6
グラウト工	グラウト材	φ	28.8	32.7	38.5	42.4	46.2
	特殊作業員	人	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
	普通作業員	人	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
目地工	内側(ポリウレタン樹脂)	kg	66.6	77.0	87.4	87.4	97.8
	内側連結部(無収縮モルタル)	m ³	0.026	0.034	0.034	0.034	0.034
	外側(モルタル)	m ³	0.010	0.012	0.012	0.014	0.014
	目地工	人	2.5	2.9	3.3	3.3	3.7
	その他消耗品	式	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0
据付所要日数		日	2.0	3.0	3.0	4.0	4.0

※上記歩掛かり表は、底設ピット(集水ピット)を2カ所設置した場合とします。

雨水貯溜システム



狭い国土の有効利用と 雨水の流出を抑制し、



特徴

1. 梁・柱・壁などプレキャスト7部材を4.5mのスペンで組み合わせることにより、任意の計画貯留量、敷地形状の貯溜槽が設計・施工可能である。
2. 梁・柱接合部はPC圧着構造で、設計値以上の強度を有し工期短縮が図れる。
3. 内部が柱・梁構造であるため、貯溜空間が大きく取れ見通しがよくまた底盤がフラットなので車輛による清掃・点検等の維持管理が可能である。
4. 現場打ちコンクリート工法に比べ工期を2/3程度に短縮できる。
5. 一般的な油圧ジャッキでプレキャスト部材の組み立てが可能である。
6. 用途によって全てプレキャスト部材で構築できるボックスカルバートタイプも選択できる。



耐震性貯水槽

(財) 土木研究センター・技術審査証明取得

憩いとうるおいの都市づくり



校庭の施工例

PC雨水貯溜槽アグア

雨水貯溜システム

小規模貯溜に適したボックスカルバートタイプ

ボックスカルバートタイプは1000m³～800m³未満の貯溜槽に最適です。

構造

PCボックスカルバートを用い、両端を塞ぐ背面版を、PC鋼材による縦締め工法にて緊結して、貯溜槽として設計・製造・施工の合理化を計っている。

特徴

- ① 衝撃、繰り返し荷重に対する抵抗性に優れ、ひびわれが発生しない構造体である。
- ② 鉄筋コンクリート構造と比較して薄肉構造である。
- ③ 施工性に優れ、工期短縮による経費、人件費の節減、掘削土量の減少など経済効果が高い。
- ④ 縦締め工法を行うことによって、製品化した場合の弱点である接合部の水漏れ、不同沈下を防止できる。

製品

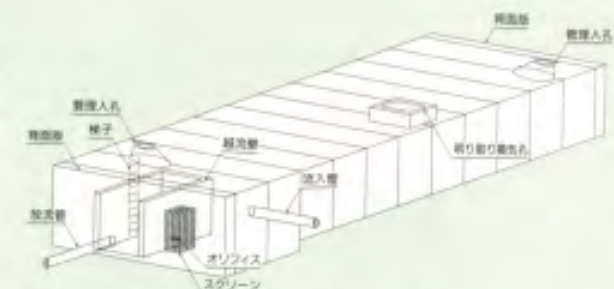
(1) ボックスカルバート

本体をなすもので、縦締めを行うために、縦締め用連結金具を設ける製品ブロック（B型）と、設けない製品ブロック（A型）がある。

(2) 背面版

両端を塞いで、貯溜槽を構成する製品。

施工例



オリフィス：流出量調整孔口

スクリーン：塵避け金物でオリフィスの前面に設ける。

越流堰：有効貯溜量以上の雨水をオーバーフローさせる堰。

